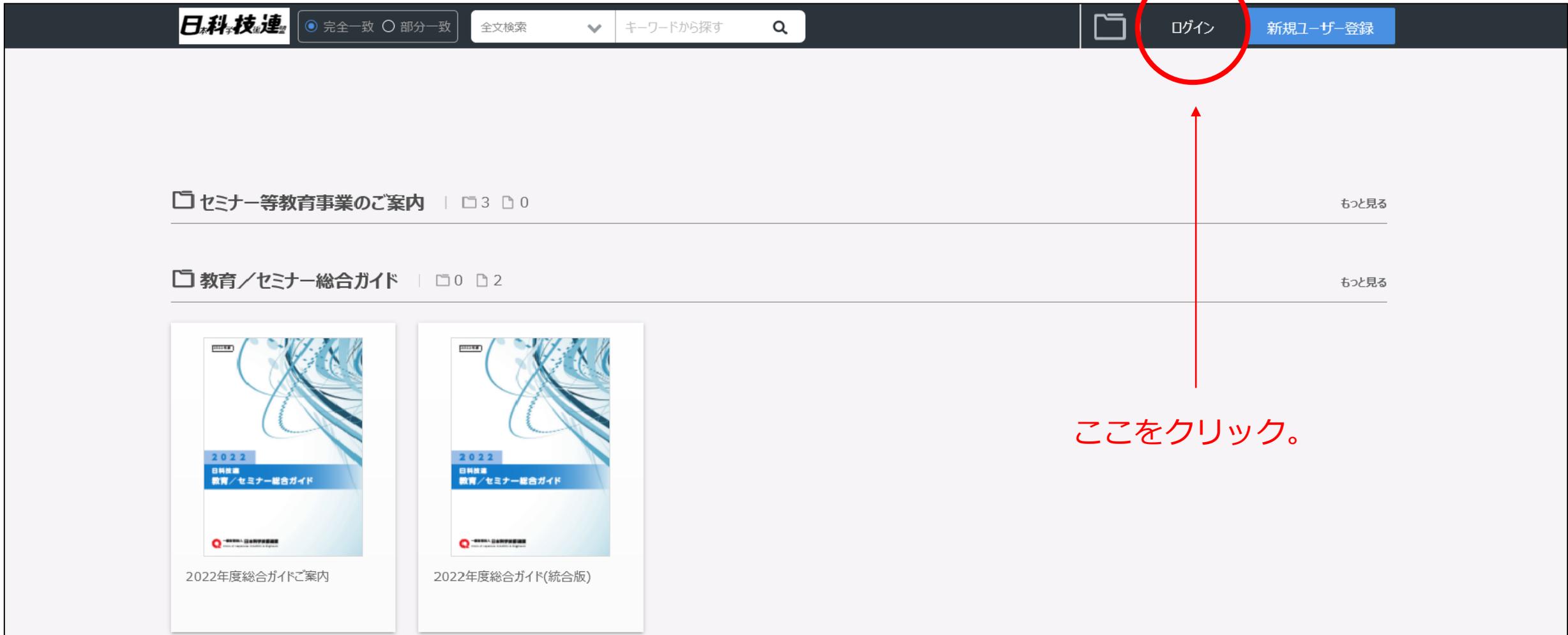


『クオリティ・クラブ』 の閲覧について

日科技連 広報・国際グループ

1. 電子ブック閲覧サイトにアクセス

<https://juse.actibook.com>



The screenshot shows the top navigation bar of the ActiBook website. The 'ログイン' (Login) button is circled in red. A red arrow points from the text 'ここをクリック。' (Click here.) to the 'ログイン' button. Below the navigation bar, there are two menu items: 'セミナー等教育事業のご案内' (3 items) and '教育/セミナー総合ガイド' (2 items). At the bottom, there are two book covers for the 2022 guide.

日科技連 完全一致 部分一致 全文検索 ▼ キーワードから探す 🔍

📁 ログイン 新規ユーザー登録

📁 セミナー等教育事業のご案内 | 📄 3 📄 0 もっと見る

📁 教育/セミナー総合ガイド | 📄 0 📄 2 もっと見る

2022 日科技連 教育/セミナー総合ガイド

2022 日科技連 教育/セミナー総合ガイド

2022年度総合ガイドご案内

2022年度総合ガイド(統合版)

ここをクリック。

2. ご案内しているIDとPWでログイン



日科技連

完全一致 部分一致

全文検索

キーワードから探す

ログイン

新規ユーザー登録

ログイン

必須 ログインID

必須 パスワード

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

ログイン

[新規ユーザー登録はこちら](#)

ログイン用IDとPWは、3月にお送り
しております賛助会員更新のご案内に
同封の、右の資料に記載されています。

※ご不明な場合は、広報・国際グループ
(jusepr@juse.or.jp)までご連絡
ください。

機関誌『クオリティ・クラブ』の配付・eBook 閲覧について

機関誌『クオリティ・クラブ』の配付・閲覧について、以下の通りご案内いたします。

● 冊子の配布終了について

- ・2022年3・4月号をもちまして印刷した冊子の配布を終了いたします。
- ・2022年5・6月号からは電子ブックのみでのご提供となります。



● 電子ブックの閲覧について

- ・電子ブックは、クラウドサーカス社の Actibook というサービスにて閲覧いただけます。
- ・電子ブックは、外部サイト（クラウドサーカス社 Actibook）に掲載いたします。

電子ブックの閲覧方法

① 機関誌『クオリティ・クラブ』の Web ページへアクセスする。

日科技連コーポレートサイト <https://www.juse.or.jp/>
事業内容 > 広報活動 機関誌『クオリティ・クラブ』

[直接の URL] https://www.juse.or.jp/business/publicity/quality_club.html



② 『クオリティ・クラブ』の閲覧をクリック。

③ 移行したページの画面右上にある【ログイン】をクリック



④ 下記ログイン ID とパスワードを入力。

ログイン ID :
パスワード :

*上記ログイン ID とパスワードは **2022年5月・6月号の発行日(5/10)** からご利用いただけます。

それ以前は2021年度のユーザー名、パスワードをご利用ください。

*パスワードは年度ごとに変更いたします。

*ログイン情報は、会員特典の範囲である会員登録法人内のみで共有してください。

・最新号は発行日(休日の場合は翌営業日)から閲覧可能となります。

・閲覧いただく際は、機関誌『クオリティ・クラブ』の Web ページに掲載している **“eBook 利用上の留意点”**を必ずお読みください。

【お問合せ先】 一般財団法人日本科学技術連盟 広報・国際センター 広報・国際グループ
TEL : 03-5378-1223 FAX : 03-5378-1227 E-mail : jusepr@juse.or.jp

3. 『クオリティ・クラブ』が表示されます。 ご覧になる号をクリックしてください。

日科技連 完全一致 部分一致 全文検索 ▼ キーワードから探す 🔍

🕒 📧 📁 教育担当者

📁 クオリティ・クラブ | 📄 3 📄 6 もっと見る



2022年1月・2月号(No.30)



2022年3月・4月号(No.31)



2022年5月・6月号(No.32)

4. 電子ブック閲覧画面

The screenshot shows a digital magazine viewer interface. At the top left is the logo '日科技連'. The top right contains navigation icons for back, forward, and search, along with a user profile icon labeled '教育担当者'. The main content area displays the cover of 'クオリティ・クラブ' magazine, No. 32, dated May-June 2022. Below the cover, there is a pink banner with the text '今号の「品質を語る」' and a paragraph about '大和リース株式会社' and '福原治氏'. On the left side, there is a sidebar menu icon. Two callout boxes provide instructions: one points to the sidebar menu icon, and the other points to the search bar at the bottom.

日科技連

教育担当者

クオリティ・クラブ
No. 32
2022年 5月・6月号

今号の「品質を語る」
大和リース株式会社 本社 生産・デボ推進部 業務推進グループ グループ長 福原 治 氏
ビジネスパートナーとともに進める「仕事の質改善」

and or コンテンツ内の文字を検索

印刷 PDF

通常 拡大 全画面

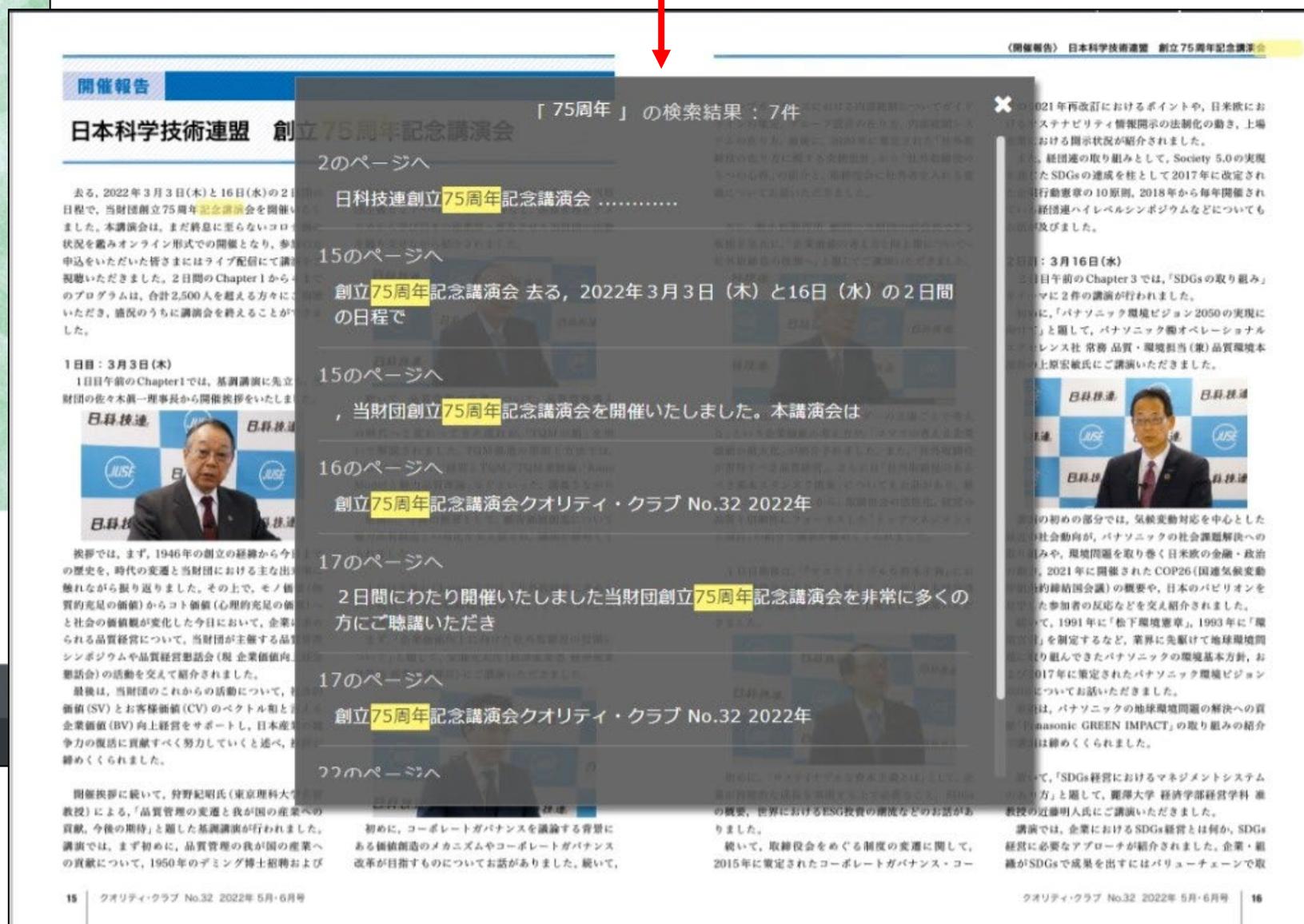
表紙 / 24

ページのサムネイルと目次が表示されます。
(次スライド参照)

誌面内のテキスト検索ができます。
(次スライド参照)

「サムネイル／目次」の表示

「検索結果」の表示



開催報告

日本科学技術連盟 創立75周年記念講演会

「75周年」の検索結果：7件

2のページへ

日科技連創立75周年記念講演会

15のページへ

創立75周年記念講演会 去る、2022年3月3日（木）と16日（水）の2日間の日程で

15のページへ

、当財団創立75周年記念講演会を開催いたしました。本講演会は

16のページへ

創立75周年記念講演会クオリティ・クラブ No.32 2022年

17のページへ

2日間にわたり開催いたしました当財団創立75周年記念講演会を非常に多くの方にご聴講いただき

17のページへ

創立75周年記念講演会クオリティ・クラブ No.32 2022年

17のページへ

創立75周年記念講演会クオリティ・クラブ No.32 2022年

初めに、コーポレートガバナンスを議論する背景にある価値創造のメカニズムやコーポレートガバナンス改革が目指すものについてお話がありました。続いて、

去る、2022年3月3日(木)と16日(水)の2日間の日程で、当財団創立75周年記念講演会を開催いたしました。本講演会は、まだ終息に至らないコロナ状況を鑑みオンライン形式での開催となり、参加申込みをいただいた皆さまにはライブ配信にて講演視聴いただきました。2日間のChapter 1からChapter 2までのプログラムは、合計2,500人を超える方々に視聴いただき、状況のうちに講演会を終えることができました。

1日目：3月3日(木)
1日午前中のChapter 1では、基調講演に先立ち財団の佐々木眞一理事長から開催挨拶をいたしました。



挨拶では、まず、1946年の創立の経緯から今の歴史を、時代の変遷と当財団における主な活動に触れながら振り返りました。その上で、モノ価値的充足の価値からコト価値(心理的充足の価値)と社会の価値観が変化した今日において、企業に求められる品質経営について、当財団が主催する品質シンポジウムや品質経営懇話会(現 企業価値向上懇話会)の活動を交えて紹介されました。

最後は、当財団のこれからの活動について、企業価値(SV)とお客様価値(CV)のベクトル相対性による企業価値(BV)向上経営をサポートし、日本産業界の復活に貢献すべく努力していくと述べ、締めくくられました。

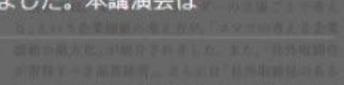
開催挨拶に続いて、狩野昭昭氏(東京理科大学教授)による、「品質管理の変遷と我が国の産業への貢献、今後の期待」と題した基調講演が行われました。講演では、まず初めに、品質管理の我が国の産業への貢献について、1950年のデミング博士招待および

2021年再改訂におけるポイントや、日本におけるレジリエンスの重要性、内閣府から発表された「2050年に向けた未来像」のなかで、2050年に達成される「社会課題の解決」の観点から、本講演会に出席する方々への期待についてお話いただきました。

本講演会は、まだ終息に至らないコロナ状況を鑑みオンライン形式での開催となり、参加申込みをいただいた皆さまにはライブ配信にて講演視聴いただきました。2日間のChapter 1からChapter 2までのプログラムは、合計2,500人を超える方々に視聴いただき、状況のうちに講演会を終えることができました。

1日目：3月3日(木)
1日午前中のChapter 1では、基調講演に先立ち財団の佐々木眞一理事長から開催挨拶をいたしました。

初めに、「パナソニック環境ビジョン2050の実現に向けて」と題して、パナソニック副オペレーションス・エグゼクティブ 常務 品質・環境担当(兼)品質環境本部の上原宏敏氏にご講演いただきました。



講演の最初の部分では、気候変動対応を中心としたSDGsの社会動向が、パナソニックの社会課題解決への取り組みや、環境問題を取り巻く日本企業の金融・政治的動向、2021年に開催されたCOP26(国連気候変動枠組条約締結国会議)の概要や、日本のパビリオンを運営した参加者の反応などを交えて紹介されました。

続いて、1991年に「松下環境憲章」、1993年に「環境方針」を制定するなど、業界に先駆けて地球環境問題に取り組んできたパナソニックの環境基本方針、および2017年に策定されたパナソニック環境ビジョンについてお話いただきました。

最後は、パナソニックの地球環境問題の解決への貢献「Panasonic GREEN IMPACT」の取り組みの紹介が締めくくられました。

続いて、「SDGs経営におけるマネジメントシステム構築の方向性」と題して、麗澤大学 経済学部経営学 准教授の近藤明人氏にご講演いただきました。

講演では、企業におけるSDG経営とは何か、SDG経営に必要なアプローチが紹介されました。企業・組織がSDGsで成果を出すにはバリューチェーンで取

2日目：3月16日(水)

2日午前中のChapter 3では、「SDGsの取り組み」をテーマに2件の講演が行われました。

初めに、「パナソニック環境ビジョン2050の実現に向けて」と題して、パナソニック副オペレーションス・エグゼクティブ 常務 品質・環境担当(兼)品質環境本部の上原宏敏氏にご講演いただきました。



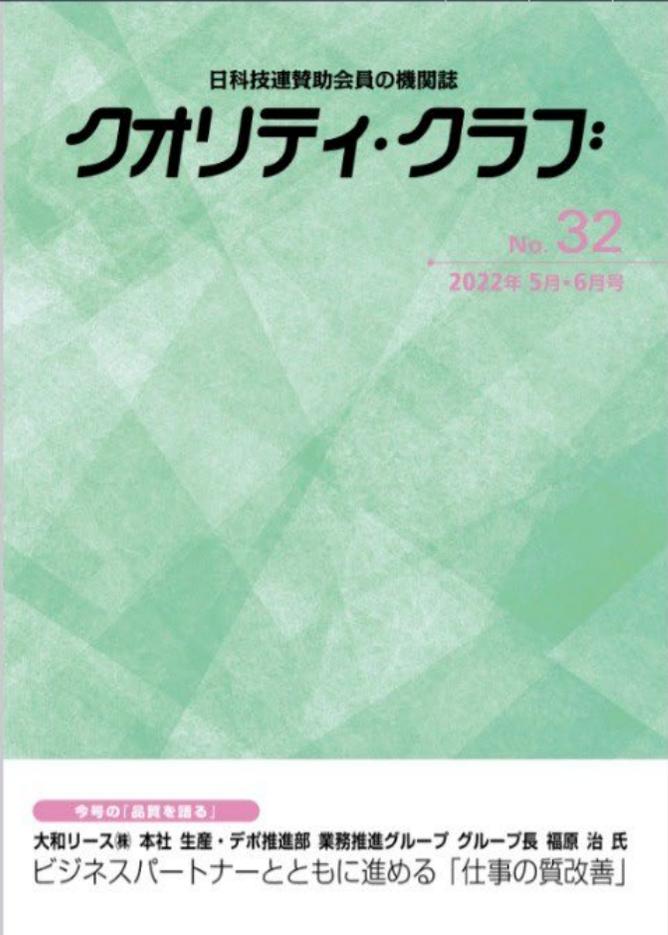
講演の最初の部分では、気候変動対応を中心としたSDGsの社会動向が、パナソニックの社会課題解決への取り組みや、環境問題を取り巻く日本企業の金融・政治的動向、2021年に開催されたCOP26(国連気候変動枠組条約締結国会議)の概要や、日本のパビリオンを運営した参加者の反応などを交えて紹介されました。

続いて、1991年に「松下環境憲章」、1993年に「環境方針」を制定するなど、業界に先駆けて地球環境問題に取り組んできたパナソニックの環境基本方針、および2017年に策定されたパナソニック環境ビジョンについてお話いただきました。

最後は、パナソニックの地球環境問題の解決への貢献「Panasonic GREEN IMPACT」の取り組みの紹介が締めくくられました。

続いて、「SDGs経営におけるマネジメントシステム構築の方向性」と題して、麗澤大学 経済学部経営学 准教授の近藤明人氏にご講演いただきました。

講演では、企業におけるSDG経営とは何か、SDG経営に必要なアプローチが紹介されました。企業・組織がSDGsで成果を出すにはバリューチェーンで取



クオリティ・クラブ

No. 32
2022年 5月・6月号

今号の「品質を語る」
大和リース株式会社 生産・デボ推進部 業務推進グループ グループ長 福原 治 氏
ビジネスパートナーとともに進める「仕事の質改善」

and or コンテンツ内の文字を検索

表紙 / 24



見開きの電子ブック形式ではなく、1ページごとのPDFでご覧になる場合は、こちらをクリック。



日科技連賛助会員の機関誌

クオリティ・クラブ

No. 32
2022年 5月・6月号

今号の「品質を語る」
大和リース株式会社 生産・デボ推進部 業務推進グループ グループ長 福原 治 氏
ビジネスパートナーとともに進める「仕事の質改善」

第51回 信頼性・保全本性・安全性シンポジウム

テーマ 信頼性・保全本性・安全性におけるデータサイエンスとAI

開催日 2022年7月14日(金)～15日(土)
オンライン開催

6/17金 13:00まで
大口参加 早期割引

最新情報更新! Web をご覧ください! <http://www.juse.jp/rms/> 51rms

—ものづくり日本を支える、産・学のスベリヤリストが一堂に集結し、最新事例を発見します—

7/14木 基調講演、特別講演、前年度RMS優秀論文(事例)賞、奨励論文(発表)賞、技術貢献賞 表彰、研究論文・事例報告発表
7/15金 企画セッション(講演)、研究論文・事例報告発表

7/14木 基調講演
鈴木 和幸 氏
基調講演 品質・保全本性・安全性シンポジウム 基調講演 基調講演
信頼性・保全本性・安全性におけるデータサイエンスとAI

7/14木 特別講演
中村 秀明 氏
ICL 日本代表取締役 基調講演
コンクリート構造物の安全性と維持管理へのAIの活用

7/15金 企画セッション(講演)
鈴木 遼太 氏
基調講演 基調講演 品質・保全本性・安全性シンポジウム 基調講演
現場導入容易な映像行動認識AIの研究開発と最新事例

7/14金午後～7/15金 研究論文・事例報告発表
「産・学」共に実用した発表があるのは本シンポジウムならでは。今年も、信頼性・保全本性・安全性の技術を高めることに役立つ企業・大学・研究機関から合計27件の発表がそろいました。「産・学」の具体的な技術や経験、ノウハウ、研究成果の最新事例が一堂に集結します!

■参加費(早割・大口参加申込、フォトコンテスト応募は6/17(金)13:00申込分まで)
●税込・1名様分(1IDにつき1名様が視聴可・複数名での視聴はできません)
— 昼 —
日科技連賛助会員/後援・協賛学会会員 41,800円(税別) 37,620円
発表者(本人のみ) 5,500円
共同執筆(発表1冊につき1名まで) 19,800円
2022年度RMS優秀論文・奨励賞 19,800円
「信頼性技術賞」最優秀賞 19,800円
フォトコンテスト応募者 19,800円
●税込・1社あたり500名様まで(～500名様まで複数名での視聴可) NEW!
大口参加 一般・日科技連賛助会員ともに 440,000円
※500名を超えての視聴のご要望がございましたら、お気軽にお問合せください。

51RMSシンポジウム担当 TEL:03-5378-9850 E-mail:rms-sympo@juse.or.jp
お問い合わせ先
※録画内容、録画スケジュールは事前にAI発表がしる場合がござります。
アプリケーションは最新バージョンにアップデートしてください。